

# あったか通信

1月号

あけまして、おめでとうございます。  
本年もよろしく願い申し上げます。



～園児たちのお寺詣りから～

園では、毎月1回、園から徒歩10分程度の距離の正福寺へ3～5歳児が参詣に行きます。その正福寺で昨年のある月の年長児組の会話から……

園長：「園長先生は『いつも佛さまはみんなをみてござる』といますね？  
おめめをつむると佛さまがみえるでしょう？」

A男児：「真っ暗や」

園長：「そう、真っ暗？」 「では、おめめをあけて下さい」

B男児：「やっぱりー。(前の阿弥陀様の像を見て) あそこにはるやん」

C女児：「ほんまや」

その声を聞いてみんなが  
「はじめから、見てはるんやー」

園長：「よかったね。みんな。見てくださって！」

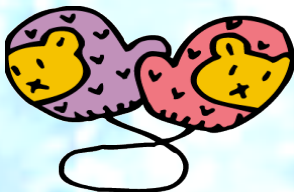
D男児：「みんなに『仲よくするんやで』って手をあげてはるなあ！」

他児：「そっか そっか、わかった、そうなんや」

園長の投げかけの言葉からお寺詣りの中で佛さまの心を感じてくれた……さすが年長組さん！

子どもたちの素直な表現の中に「あったかさ」を感じたお寺詣りでした。

子どもたちのおもいを大切に育ちあいたいものです。



2011年1月  
園長 川田彰心